

## 企業に関する情報の宝庫 リエゾンセンター資料室のご案内

経済経営研究所（政策研究リエゾンセンター）

助手 関口 秀子

経済活動の主要な担い手である企業について、神戸大学経済経営研究所の附属政策研究リエゾンセンターにある「企業情報分析資料室」（以下、リエゾンセンター資料室 という）では、企業関連の情報資源を系統的に収集・整備し、学内外の研究者・院生・学生等に公開・提供しております。

神戸大学の大学院生であるリエさんは、大学の近くにある三井住友銀行に自分の口座を持っていますが、入学したときの行名は「さくら銀行」でした。途中で銀行名の変更がありましたが、いつだったかははっきりと覚えていませんし、通学路には三和銀行の支店もあったのですが、UFJ銀行と変わっています。またリエさんは、三井住友フィナンシャルグループが、三菱東京フィナンシャルグループとUFJグループの争奪戦を繰り広げているニュースがあったことを思い出し、利用している銀行について調べてみようとしてリエゾンセンター資料室を訪ねました。

リエゾンセンター資料室では、有価証券報告書のデータベースが提供されているのを知っていたリエさんは、三井住友フィナンシャルグループの有価証券報告書から調査を始めました。ちなみに有価証券報告書は、企業情報について詳細であり、かつ法によって規制されており、その上他社との比較可能性がある等の特性を持った企業情報の開示を行っており、同資料室の中心的な情報資源群の一つを構成していました。

リエさんは有価証券報告書の調査から、「株式会社三井住友銀行」が、平成14年7月に持株会社を設立しグループ経営改革を行う事を決定。同年9月の臨時株主総会及び種類株主総会において、株式移転によって完全親会社の三井住友フィナンシャルグループを設立しその完全子会社となることの承認決議を経て、11月持株会社設立に係る認可を得たうえで、12月に「株式会社三井住友フィナンシャルグループ」が設立されたという経緯を、先ず、知りました。その後、三井住友銀行は平成15年3月、わかしお銀行を存続会社として合併し商号を変更、新しい三井住友銀行となったのです。

何かおもしろくなったりリエさんが過去へ遡って調査をすると、三井住友銀行は平成13年4月に、さくら銀行と住友銀行が合併してできたことがわかりました。

さらに調査を進めると、さくら銀行は平成2年4月三井銀行と太陽神戸銀行が合併し、太陽神戸三井銀行となった後、平成4年4月名前を変えたものであること。合併前の三井銀行は、江戸時代の三

井両替店に起源を持ち、本邦初の私立銀行として明治9年7月に私盟会社三井銀行として創立されたが、昭和18年4月には第一銀行と合併（昭和23年分離）して帝国銀行となり、昭和29年1月再び三井銀行と行名復歸した。他方の太陽神戸銀行はいわゆる一県一行主義により、第三十八・五十六銀行及び神戸岡崎・西宮等の兵庫県下の7銀行が昭和11年12月合併し発展した神戸銀行と、昭和15年の大日本無尽を前身としそこから日本無尽へ、さらに日本相互銀行と変化した後の太陽銀行が、昭和48年10月に合併し発足したものであること。さらに、もう一方の大きな流れの住友銀行も両替商に起源を持ち、明治28年創業、同45年3月に株式会社住友銀行が設立され、昭和23年10月には大阪銀行と商号変更し、昭和27年12月再び住友銀行に行名復歸し、平成13年4月さくら銀行と合併した、という史的な流れがわかったのです。

リエさんは、三井住友銀行について、インターネットで調べた以上に簡単にその変遷がよく理解できたことに加えて、『三井銀行100年の歩み』、『物語三井両替店』、『神戸銀行史』、『日本相互銀行史』、『住友銀行百年史』、『江戸札差と住友家』等他の多数の社史（企業史）があることも知りました。リエゾンセンター資料室の説明では、同室は日本でも有数の社史等（企業者史・業界団体史・産業史を含む）の所蔵機関で、国内外合わせて約12,700冊が架蔵されており、さらに第2次世界大戦前の「営業報告書」といった過去情報も豊富に所蔵しているということなので、今回は、大阪大学で経営史を専攻している友人を連れてこようと思いました。

企業について調査・研究されるときは、政策研究リエゾンセンターのホームページ、

<http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/liaison/index-j.html>

を一度ご覧下さい。国内の企業だけではなく、海外の企業についても史的情報を中心に、提供可能な情報資源についてご案内しております。

ご質問があれば、

政策研究リエゾンセンター 企業情報分析資料室 [center@rieb.kobe-u.ac.jp](mailto:center@rieb.kobe-u.ac.jp)

へ、どうぞご連絡下さい。

皆様がリエゾンセンター資料室を訪問され、企業に関する資料やデータ等の情報資源を利活用されますことを、資料室スタッフ一同お待ちしております。